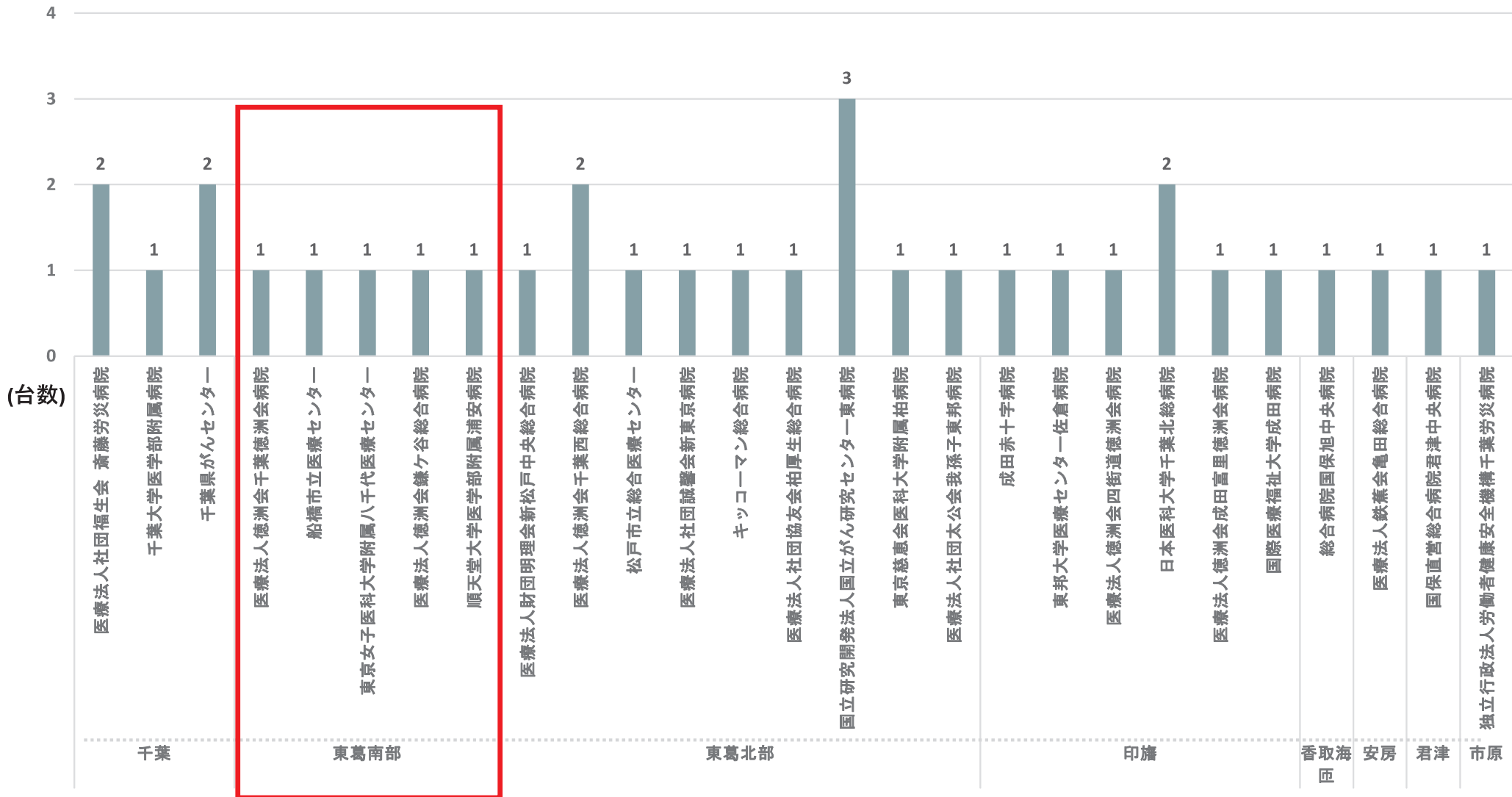


医療機関別 内視鏡下手術支援ロボット (da vinci) の台数

医療機器

県全体で33台、保有施設数は27施設である。東葛南部医療圏は5台保有。

内視鏡手術用支援機器(da vinci)台数



出典：病床機能報告データ2023(R5)年度

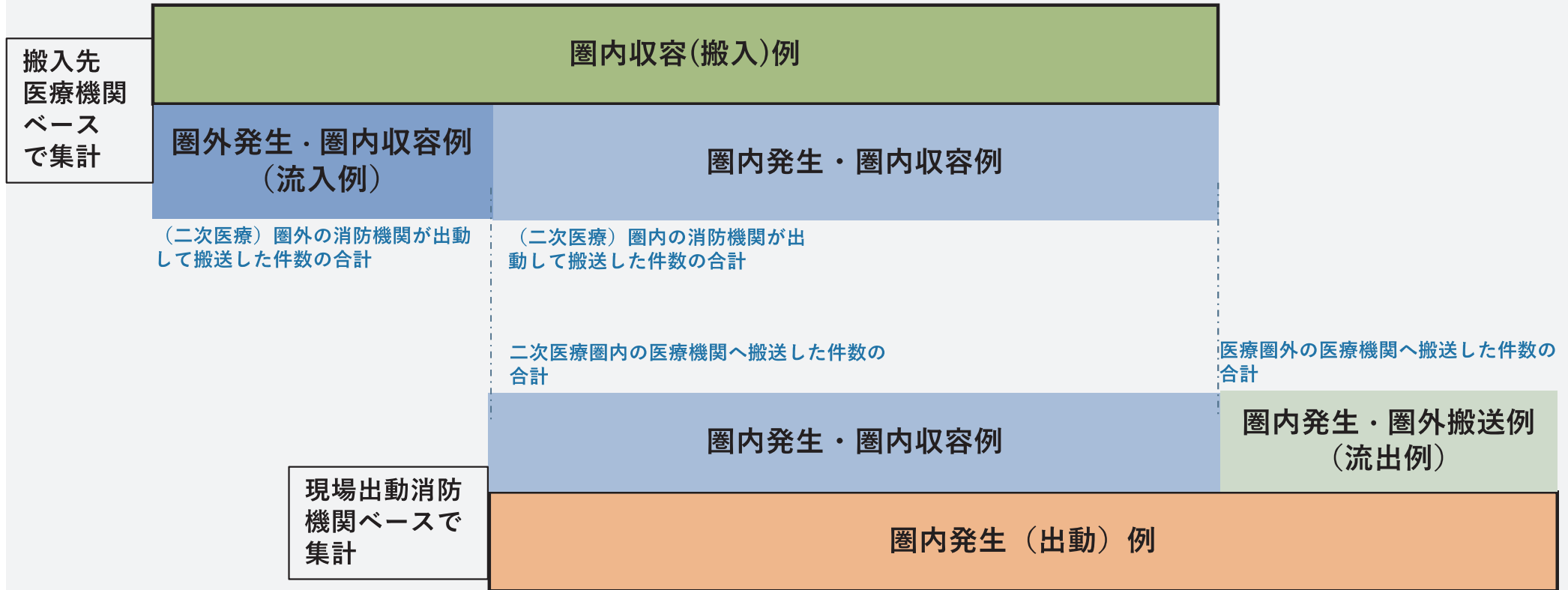
※病院による報告データのため一部データが不足している可能性がある

二次医療圏救急流入例・流出例の件数の考え方

考え方

5事業：救急

二次医療圏内の病院に搬入された件数の合計



二次医療圏内の消防機関が出動した件数の合計

計算式 **流入例の件数** = 圈内收容(搬入)例の件数 - 圈内発生・圈内收容例の件数

流出例の件数 = 圈内発生(出動)例の件数 - 圈内発生・圈内收容例の件数

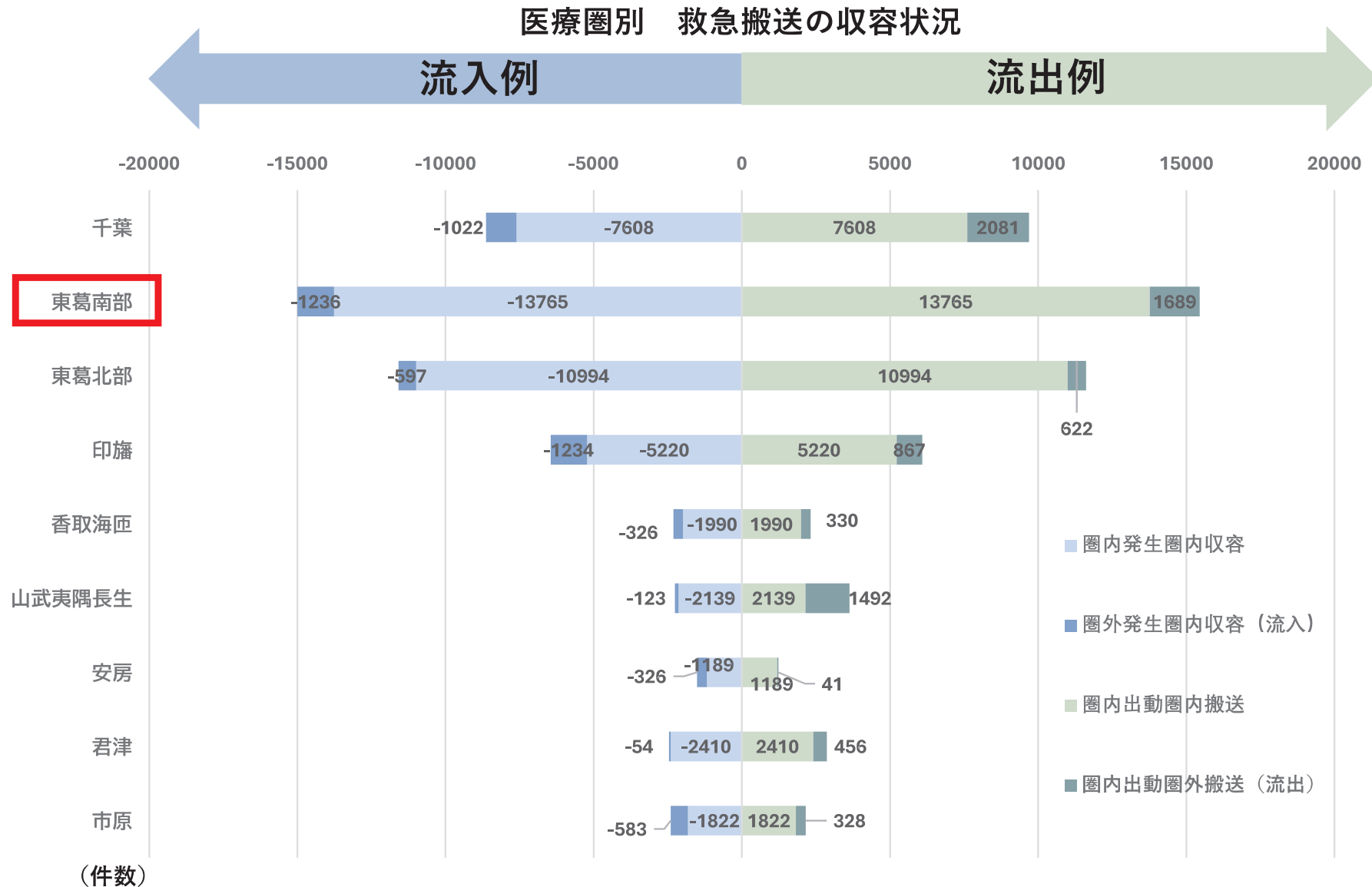
※本分析方法においては以下の問題点を内包するため注意を要する。

- ①千葉県外の発生事案において、他県の消防が千葉県内の医療機関に搬入した場合は千葉県救急搬送実態調査の対象外となる。
- ②医療圏内で收容される搬送のうち一部がカウントされていない場合がある。その場合は流出件数として計上されている。
- ③千葉県救急搬送実態調査の対象となる收容先医療機関(番号付与のある機関)に收容された事案のみを圈内收容と定義している。そのため、医療圏内での收容例であっても、クリニックや小規模病院の場合は圏外と同様にカウントされている。

救急搬送全体に占める流入・流出の規模と需給バランス

5事業：救急

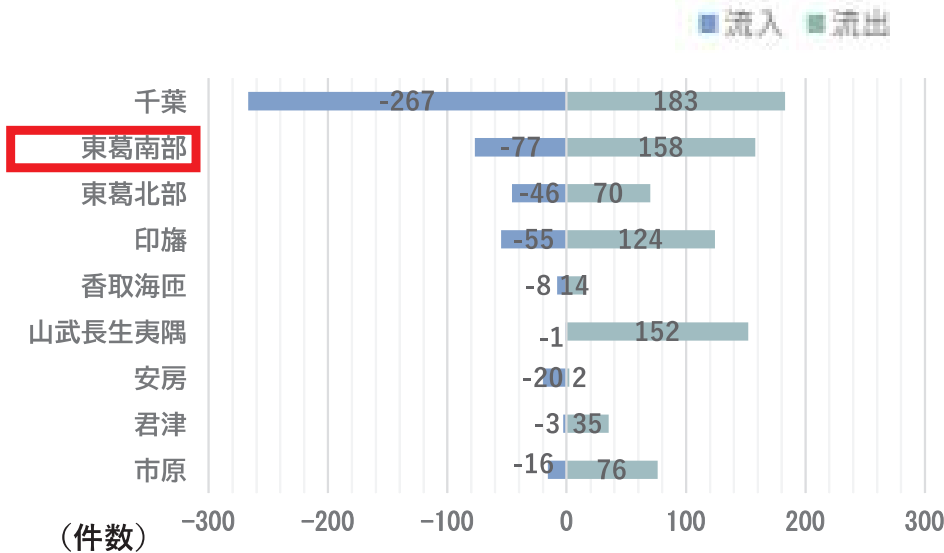
東葛南部医療圏は救急の規模は県全体において最大である。



※出典：令和5年度千葉県救急搬送実態調査(9月10月の2か月間における千葉県内の消防が出動・搬送した事例-55046件を対象)

医療圏別 救急搬送件数 年齢区分別流出入件数

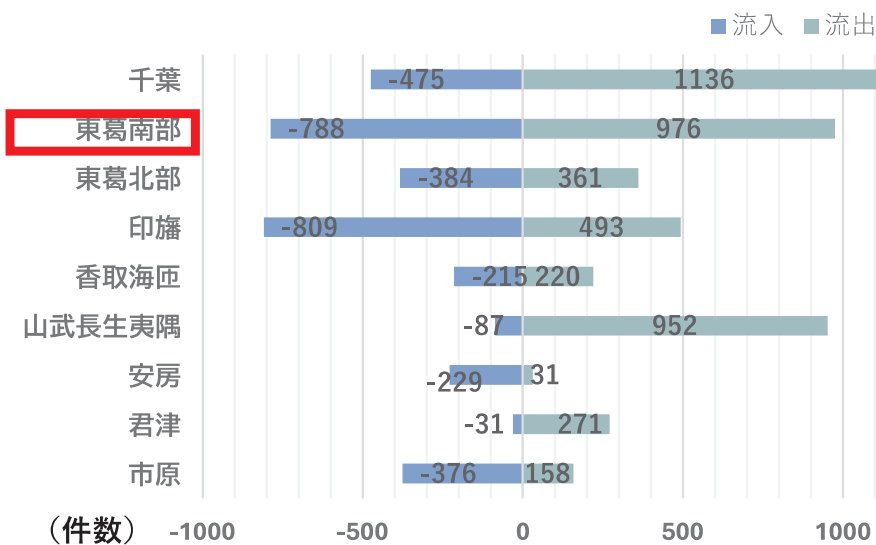
流入流出 小児 医療圏毎



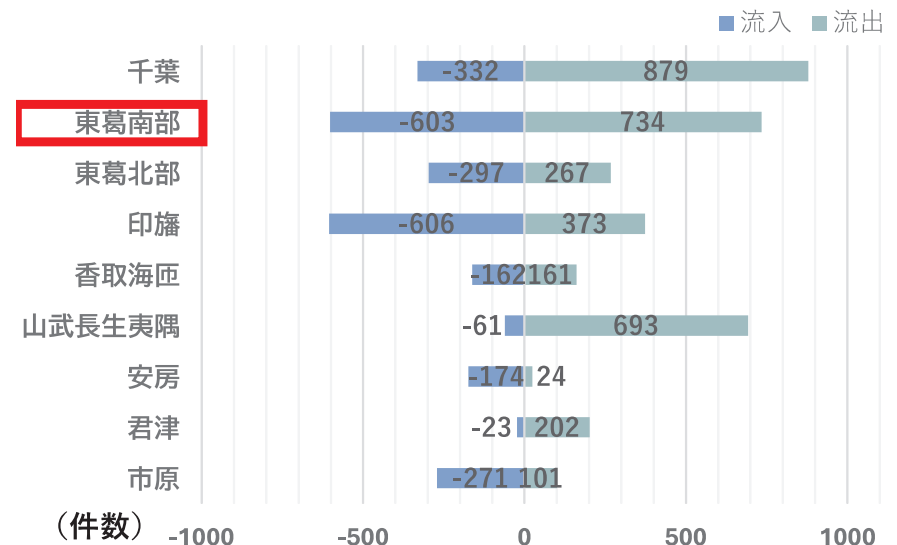
小児については流出超過となっていた。

高齢者搬送は、流出超過でありこの傾向は65歳以上と75歳以上で区分した場合で同様であった。

流入流出 65歳以上 医療圏毎



流入流出 75歳以上 医療圏毎



医療圏別 救急搬送件数 他医療圏への流出先の状況

5事業：救急

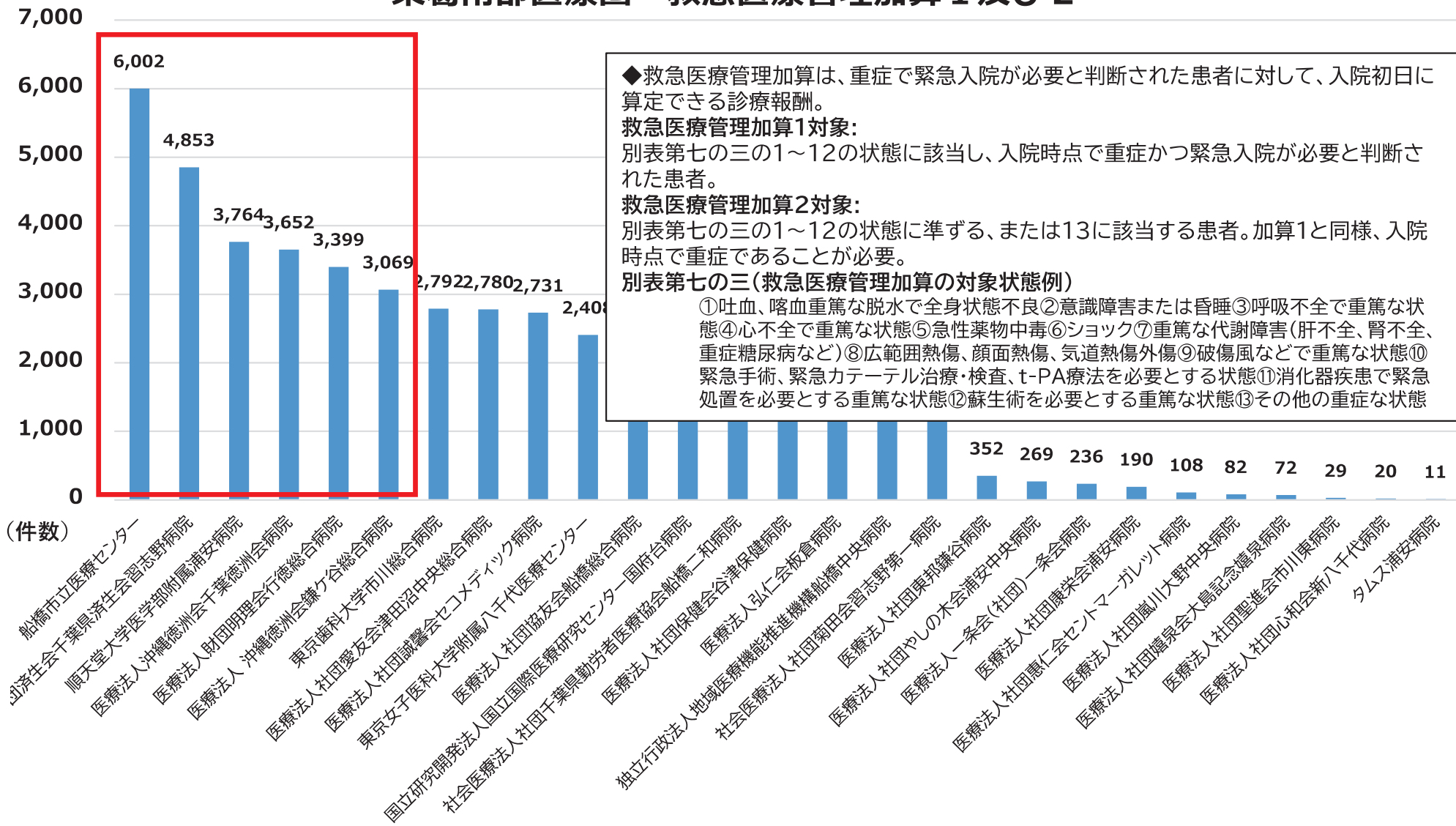
東葛南部圏救急出動事例15,454件中13,765件（搬送先が特定される範囲では92.7%,13,765/14,852）が自医療圏に搬送されており、1,087件が他医療圏に搬送されていた。件数では東葛北部圏442件、印旛圏356件、千葉圏283件の流出が多い。

出動件数 15,454件		搬送先医療圏	死亡	重症	中等症	軽症	その他	全傷病程度
自医療圏内搬送	13,765	東葛南部(自圏)	99	843	5,659	7,164	0	13,765
自医療圏外搬送 (他8医療圏)	1,087	千葉	1	56	140	86	0	283
		東葛北部	0	54	307	81	0	442
		印旛	3	36	185	132	0	356
		香取海匠	0	0	1	0	0	1
		山武長生夷隅	0	1	0	0	0	1
		安房	0	0	1	0	0	1
		君津	0	0	0	0	0	0
		市原	0	2	1	0	0	3
		(小計)	(4)	(149)	(635)	(299)	(0)	(1,087)
(搬送先確定件数14,852)								
収容先不詳	602		1	49	254	297	1	602
	15,454		104	1,041	6,548	7,760	1	15,454

* 収容先不詳：県内のクリニックや小規模病院（千葉県救急搬送実態調査で番号が付与されていない病院）や県外の病院

年間3,000件以上算定：6医療機関

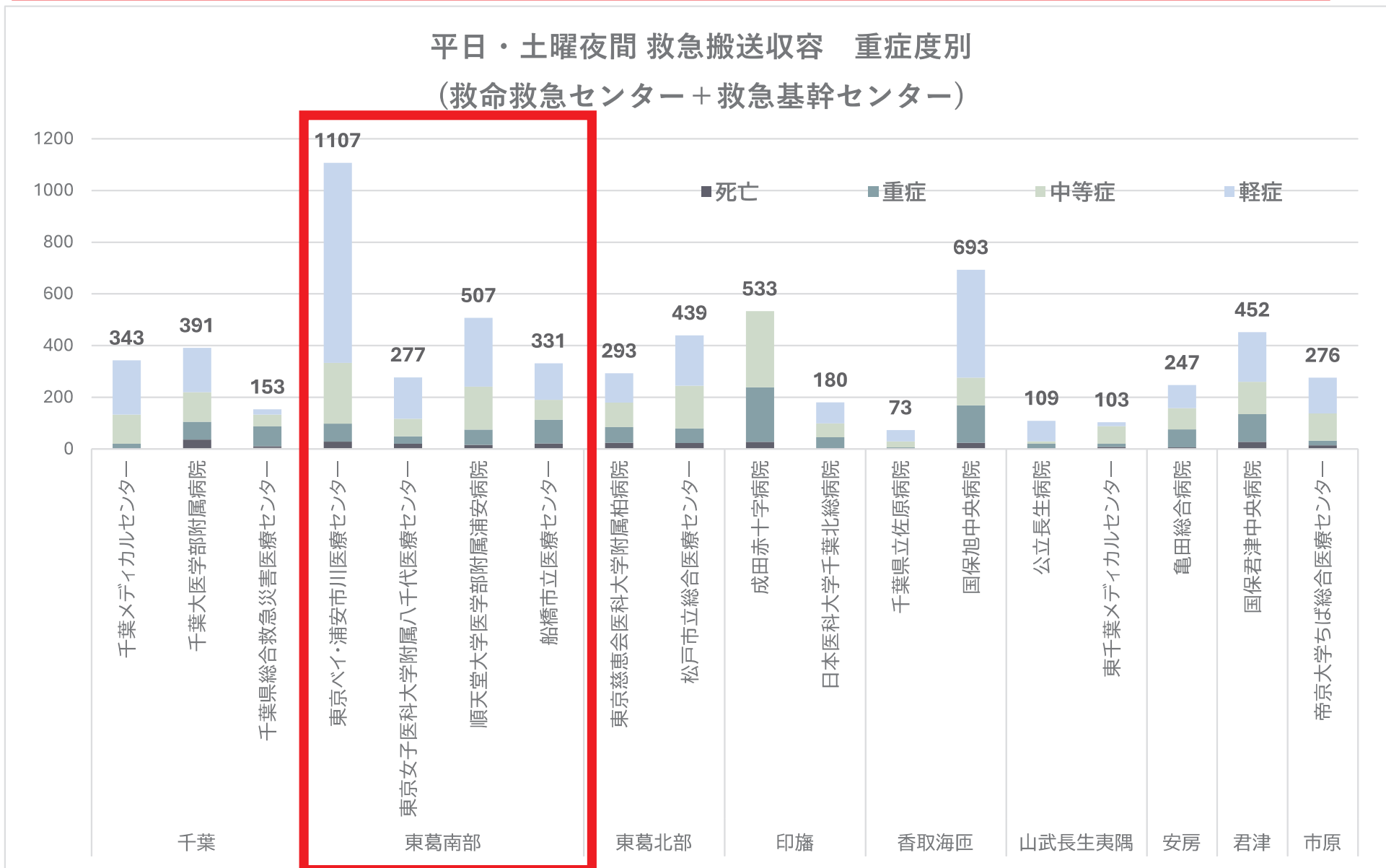
東葛南部医療圏 救急医療管理加算 1 及び 2



出典：病床機能報告オープンデータ2021(R3)年度

※病院による報告データのため一部データが不足している可能性がある

東京ベイ浦安・順天浦安医療センター等4病院を中心に受け入れている。



* 県循環器センターは夜間搬送に関するデータなし
 * 平日夜間とは18:00-8:00までをさす
 * 土曜夜間とは12:00-8:00までをさす